



# Cisco Unified Communications Manager サーバ 設定



(注) Cisco Unified Communications Manager のリリースにより、メニューオプションとパラメータが異なるため、リリースごとの Cisco Unified Communications Manager のドキュメントを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定, 1 ページ](#)
- [標準 CCM アクセス コントロール グループへのユーザの追加, 2 ページ](#)
- [CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, 3 ページ](#)
- [CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, 4 ページ](#)
- [アプリケーション ユーザへの CTI デバイス制御の割り当て, 4 ページ](#)
- [ダイヤルルールの設定, 5 ページ](#)

## Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定

Microsoft Lync と統合するために Cisco Unified Communications Manager を設定する場合は、事前に Cisco Unified Communications Manager でユーザとデバイスの設定を完了しておく必要があります。電話デバイスを設定し、ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける必要があります。

回線をデバイスに関連付ける必要もあります。ただし、拡張モビリティ機能のユーザの場合は、回線をデバイスプロファイルに関連付けます。この関連付けがラインアピランスとなります。ユーザをデバイスまたはデバイスプロファイルに関連付けると、ラインアピランスがユーザに関連付けられます。

タスク	メニューパス
電話デバイスを設定し、プライマリ内線を各デバイスに関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ]> [デバイス (Device) ]> [電話 (Phone) ]> [電話 (Phone) ]
ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ]> [ユーザ管理 (User Management) ]> [エンドユーザ (End User) ]
ユーザをライン アピアランスに関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ]> [デバイス (Device) ]> [電話 (Phone) ]

#### 次の作業

標準 CCM アクセスコントロールグループへのユーザの追加, (2 ページ)

#### 関連トピック

[ライン アピアランス](#)

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html)

## 標準 CCM アクセスコントロールグループへのユーザの追加

#### はじめる前に

Cisco Unified Communications Manager で、前提条件であるユーザとデバイスの設定を完了しておきます。

## 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] > [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [アクセス コントロール グループ (Access Control Group) ] を選択します。
  - ステップ 2 [検索 (Find) ] を選択します。
  - ステップ 3 [標準 CCM エンド ユーザ (Standard CCM End Users) ] を選択します。
  - ステップ 4 [グループにエンド ユーザを追加 (Add End Users to Group) ] を選択します。
  - ステップ 5 標準 CCM アクセス コントロール グループに追加するエンド ユーザを選択します。
  - ステップ 6 [選択項目の追加 (Add Selected) ] を選択します。
  - ステップ 7 [保存 (Save) ] を選択します。
- 

## 次の作業

[CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

## 関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定, \(1 ページ\)](#)

# CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定

次の手順を実行し、CTI ゲートウェイのアプリケーション ユーザを設定します。

## 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] > [ユーザ管理 (User Management) ] > [アプリケーション ユーザ (Application User) ] を選択します。
  - ステップ 2 [新規追加 (Add New) ] を選択します。
  - ステップ 3 [ユーザ ID (User ID) ] フィールドに、アプリケーション ユーザ名を入力します。  
  
例：  
CtiGW
  - ステップ 4 このアプリケーション ユーザのパスワードを入力し、パスワードを確認します。
  - ステップ 5 [保存 (Save) ] を選択します。
- 

## 次の作業

[CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, \(4 ページ\)](#)

## CTI 対応アクセスコントロールグループへのアプリケーションユーザの追加

次の手順を実行し、CTI 対応アクセスコントロールグループへアプリケーションユーザを追加します。

### はじめる前に

CTI ゲートウェイを使用できるようにアプリケーションユーザを設定します。

### 手順

- 
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] > [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group) ] を選択します。
  - ステップ 2 [検索 (Find) ] を選択します。
  - ステップ 3 [標準 CTI 対応 (Standard CTI Enabled) ] を選択します。
  - ステップ 4 [グループにアプリケーションユーザを追加 (Add App Users to Group) ] を選択します。
  - ステップ 5 CTI ゲートウェイ用に作成したアプリケーションユーザを選択します。
  - ステップ 6 [選択項目の追加 (Add Selected) ] を選択します。
  - ステップ 7 [保存 (Save) ] を選択します。
- 

### 次の作業

[アプリケーションユーザへの CTI デバイス制御の割り当て, \(4 ページ\)](#)

### 関連トピック

[CTI ゲートウェイ アプリケーションユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

## アプリケーションユーザへの CTI デバイス制御の割り当て

次の手順を実行し、CTI デバイス コントロールをアプリケーションユーザに割り当てます。

### はじめる前に

CTI ゲートウェイを使用できるようにアプリケーションユーザを設定します。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ] > [ユーザ管理 (User Management) ] > [ユーザ設定 (User Settings) ] > [アクセス コントロール グループ (Access Control Group) ] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find) ] を選択します。
- ステップ 3** [標準 CTI によるすべてのデバイスの制御 (Standard CTI Allow Control of All Devices) ] を選択します。 Cisco Unified IP Phone の RT モデルを配置している場合は、[標準 CTI による接続時の転送および会議をサポートする電話の制御 (Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and conf) ] を選択します。
- ステップ 4** [グループにアプリケーション ユーザを追加 (Add App Users to Group) ] を選択します。
- ステップ 5** CTI ゲートウェイ用に作成したアプリケーション ユーザを選択します。
- ステップ 6** [選択項目の追加 (Add Selected) ] を選択します。
- 

## 関連トピック

[CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

[CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, \(4 ページ\)](#)

## ダイヤル ルールの設定

Lync サーバから送られる「+」接頭辞を取り除くには、ダイヤル ルールの設定が必要です。ダイヤル ルールが設定されていない場合、Cisco Unified Communications Manager から回線 URI が見つけられず、コール発信が失敗します。



- 
- (注) ユーザが E.164 形式の番号をプロビジョニングしている場合のみ、次の設定が必要となります。ユーザと IP 電話の両方で E.164 形式の番号がプロビジョニングされている場合、「+」接頭辞を取り除くためにアプリケーションのダイヤル ルールを設定する必要はありません。
-

## 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration) ]>[コール ルーティング (Call Routing) ]>[ダイヤルルール (Dial Rules) ]>[アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules) ]>[新規追加 (Add New) ] を選択します。
- ステップ 2** ダイヤル ルールの名前と説明を入力します。
- ステップ 3** [開始番号 (Number Begins With) ] フィールドに、+ と入力します。
- ステップ 4** 番号形式 xxx-xxx-xxxx をサポートするために、[桁数 (Number of Digits) ] フィールドに 12 と入力します。
- ステップ 5** [削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed) ] フィールドに、1 と入力します。桁は常に左から右へと削除されるため、「+」接頭辞が取り除かれます。
- ステップ 6** [保存 (Save) ] を選択します。
- 

## 次の作業

[IM and Presence サーバ設定](#)